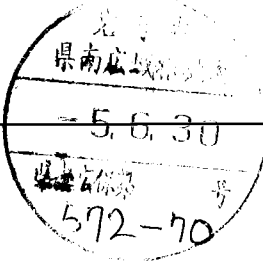


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 28 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者	
住 所 岩手県奥州市水沢真城字北館38番地1	
氏 名 工藤建設株式会社	
代表取締役社長 蜂谷 剛司	
電話番号 0197-23-4642	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	工藤建設株式会社
事業場の所在地	岩手県奥州市水沢真城字北館38番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	資本金 2,000万円 前年度完成工事高 1,153,979千円
③ 従業員数	51人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設廃棄物発生 → 収集運搬（自社及び委託） → 中間処理業社へ委託 → 最終処分・再生処理



（日本工業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長(廃棄物管理責任者)

工事部長(廃棄物処理等責任者)

各現場代理人(産業廃棄物担当者)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら、アスコンがら、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、木くず、その他がれき類
	排出量	3,674.35 t
	（これまでに実施した取組） 当社は、土木工事が主のため、工事の種類によって、産業廃棄物の有無があるため、産業廃棄物の排出抑制ではなく、リサイクル業者への処分、再資源化を実施。（廃プラスチック類は一部燃料化）	
②計画	【目標】 リサイクル業者への委託処分	
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら、アスコンがら、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、木くず、その他がれき類
	排出量	3,625.50 t
	（今後実施する予定の取組） 昨年度と同様とする。	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・コンクリート殻（有筋と無筋の分別） ・アスファルト殻（コンクリート殻との分別） ・金属くず、ガラス陶磁器くず（回収ボックス別に分別） ・木くず（木くずと木くず（根部）との分別）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 建設現場に新たに発生した産業廃棄物の種類により分別する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら再生利用する予定はない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和              4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら、アスコンがら、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、木くず、その他がれき類	
	全 処 理 委 託 量	3,674.35 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	3,674.35 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	基本的事項 ・産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する関係法令、その他の規則を遵守するとともに、行政の環境対策に協力する。 ・発生した産業廃棄物は、収集運搬から処分に至るまで確認し、的確に管理する。 ・運搬業者、処理業者と適正な委託契約を締結する。		
	目標値の設定 ・工事の種類によって、産業廃棄物処理の有無がある為、排出の抑制ではなく、リサイクル業者への委託処分、再資源化を実施する。		

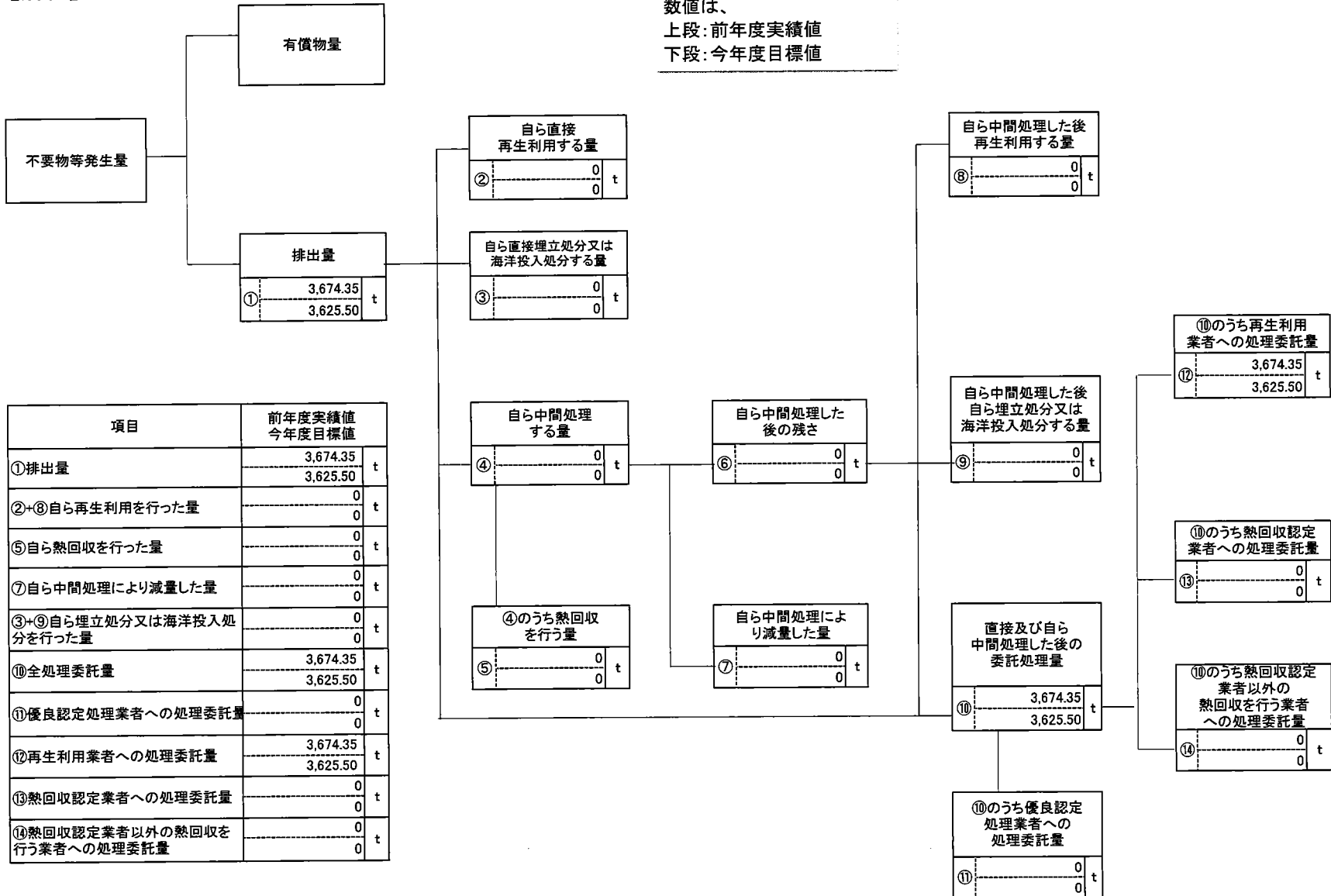
## (第5面)

②計画	【目標】 リサイクル業者への委託処分、再資源化の実施		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら、アスコンがら、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、木くず、その他がれき類	
	全 処 理 委 託 量	3,625.50 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	3,625.50 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今年度(R5)の処理計画は別紙参照		
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類: 合計)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接  
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分する量

③	0	t
---	---	---

自ら中間処理した後  
再生利用する量

⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分する量

⑨	0
---	---

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

	895.02
⑫	890.00

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

13	0
	0

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の

熱回収を行う業者 への処理委託量	0

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

(10)	895.02
	890.00

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪	0
---	---

自ら中間処理

④	0	t
---	---	---

自ら中間処理した  
後の残キ

⑥	0
---	---

④のうち熱回収  
率を算出

⑤	0	t
---	---	---

自ら中間処理によ  
「減算」も最

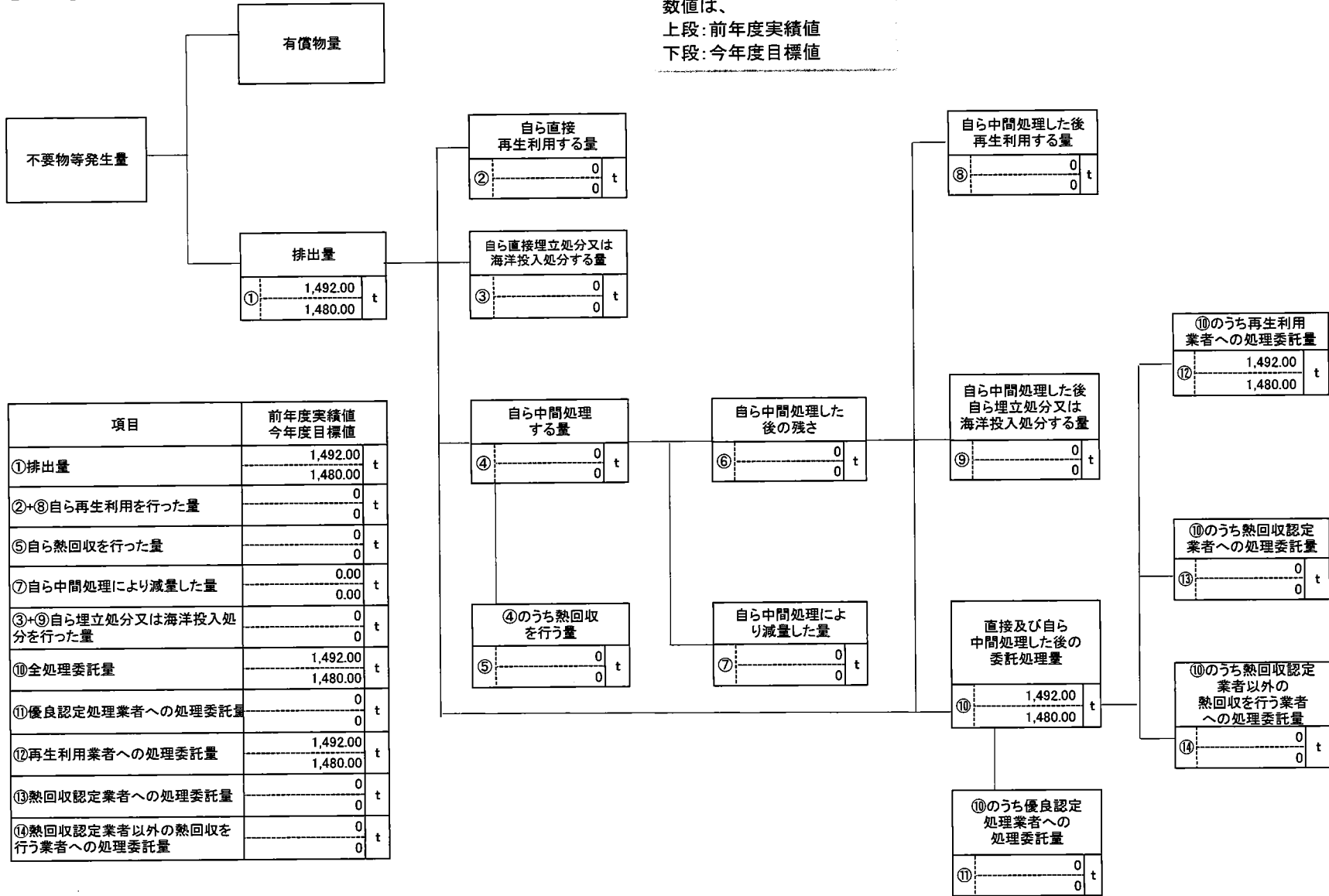
⑦	0
---	---

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	895.02 890.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 0	t
⑩全処理委託量	895.02 890.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	895.02 890.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 0	t

(産業廃棄物の種類: アスコンから)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





**【別紙】今年度の計画**

有償物量


不要物等発生量

排出量

自ら直接  
再生利用する量

②  $\begin{array}{c} 0 \\ \hline 0 \end{array} t$

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分する量

③  t

自ら中間処理した後  
再生利用する量

⑧	0	t
---	---	---

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分する量

⑨	0	t
---	---	---

自ら中間処理  
する量

④  $\begin{array}{c} 0 \\ \hline 0 \end{array} t$

自ら中間処理した  
後の残さ

⑥  $\frac{0}{0}$  t

④のうち熱回収  
を行う量

⑤  $\begin{array}{c|c} & 0 \\ \hline & 0 \end{array} t$

自ら中間処理により減量した量

$$\begin{array}{c|c} \textcircled{7} & \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \end{array} \quad t$$

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

	260.30	
⑩	250.00	t

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪	0
	0

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫	260.30
	250.00

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

(13)	0
	0

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の

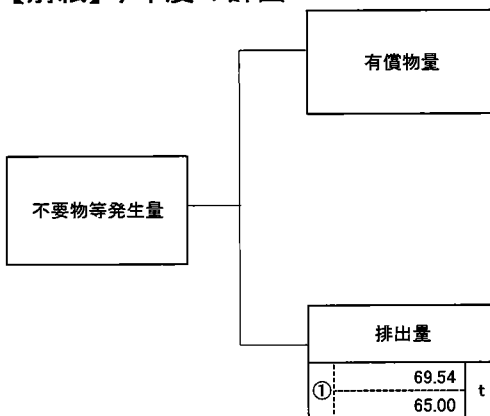
熱回収を行う業者 への処理委託量	0
---------------------	---

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	260.30	t
	250.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	t
	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	t
	0.00	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	t
	0	
⑩全処理委託量	260.30	t
	250.00	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	0	
⑫再生利用業者への処理委託量	260.30	t
	250.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	0	

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



自ら直接再生利用する量	
②	0
	0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	
③	0
	0

自ら中間処理した後再生利用する量	
⑧	0
	0

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	69.54	65.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0
⑩全処理委託量	69.54	65.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0
⑫再生利用業者への処理委託量	69.54	65.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0

自ら中間処理する量	
④	0
	0

自ら中間処理した後の残さ	
⑥	0
	0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	
⑨	0
	0

④のうち熱回収を行う量	
⑤	0
	0

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0
	0

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	
⑩	69.54
	65.00

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	69.54
	65.00

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	0
	0

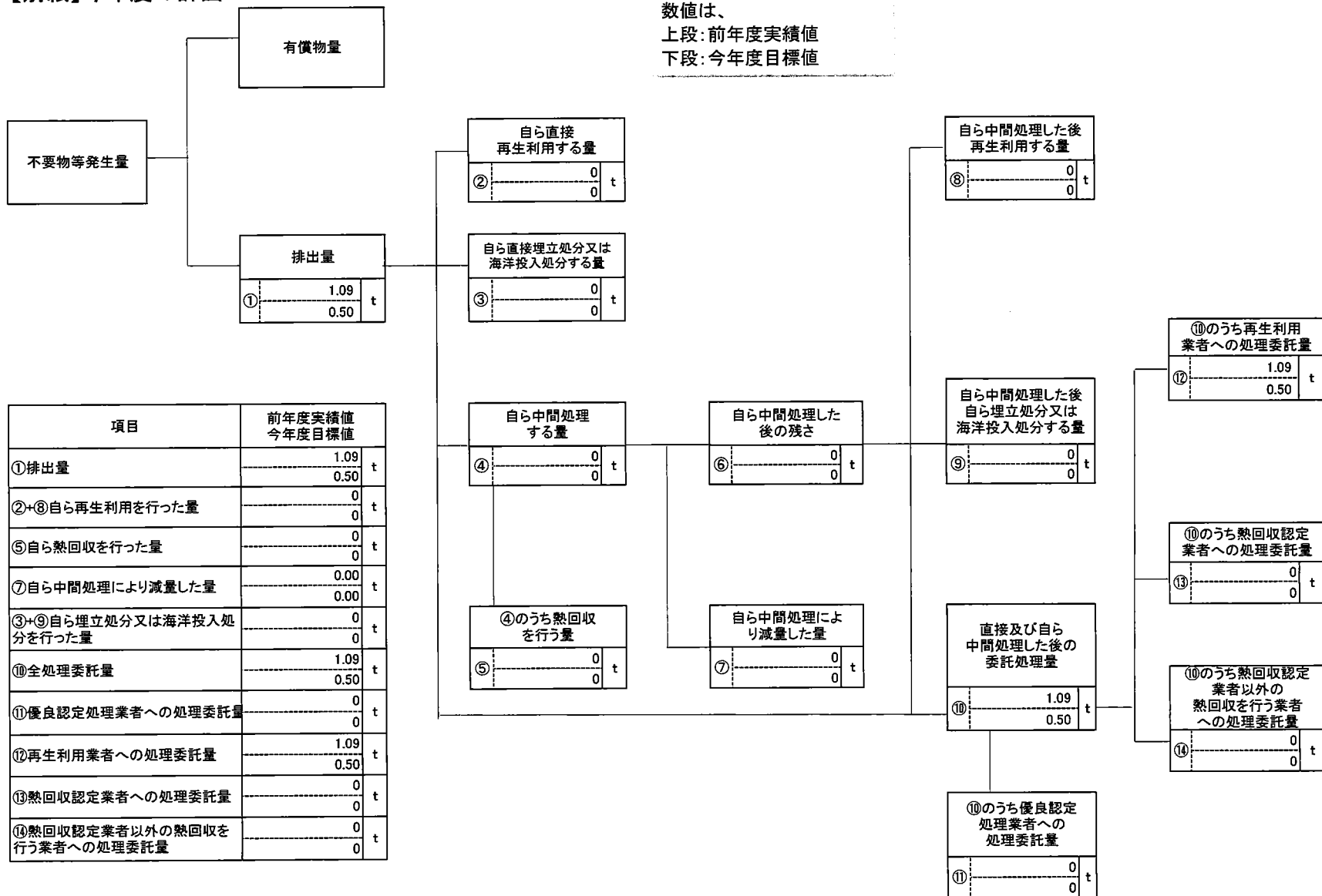
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	0
	0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑪	0
	0

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

【別紙】今年度の計画

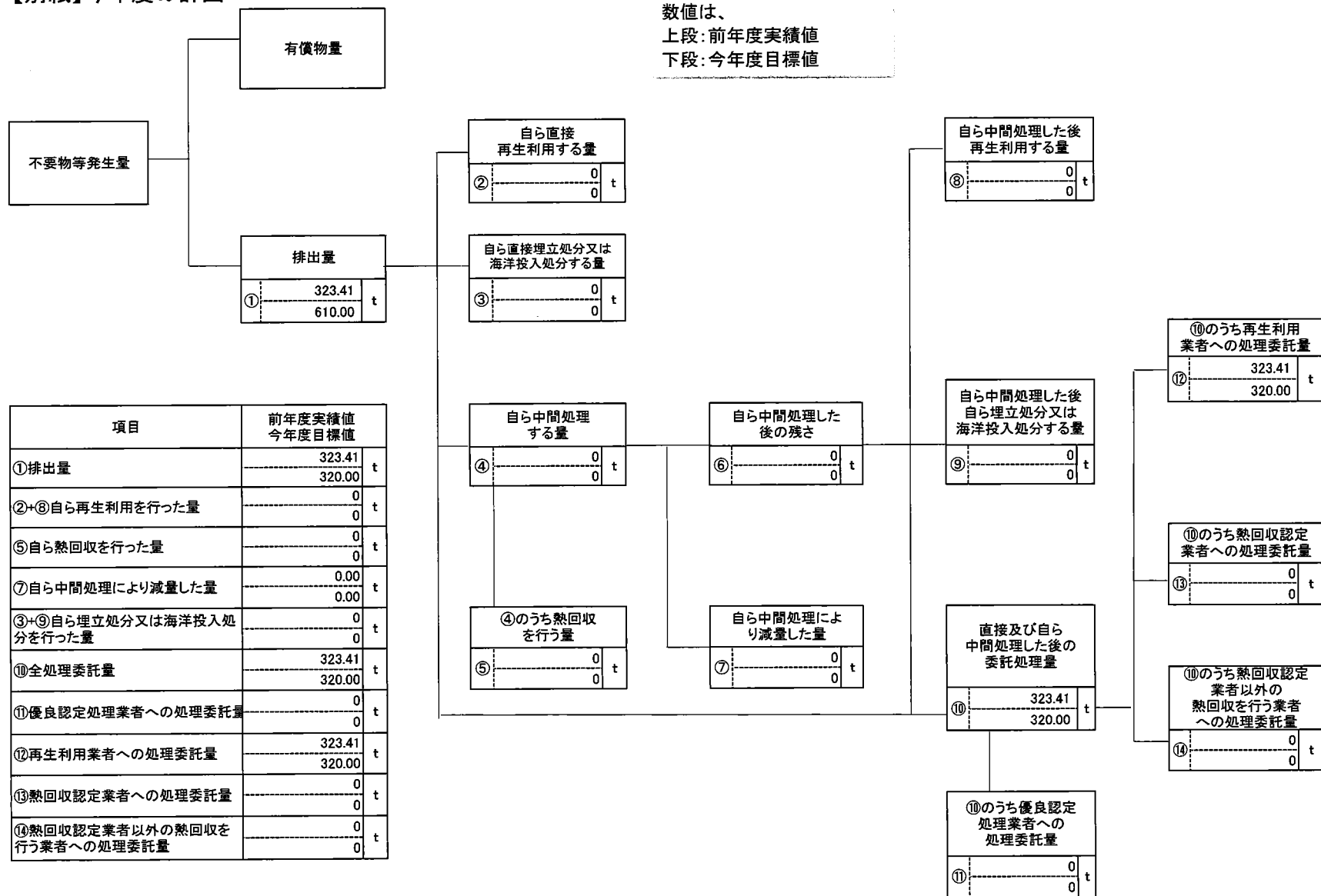
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 木くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

